

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

## 1. 活動のテーマ

英語を通して他国への興味を広げる

### <テーマの設定理由>

大きな教会に隣接する為、日頃から外国の方を目にする機会が多かった。また近年、グローバル化が進み子供の環境下にも日本語以外の言葉を耳にする機会が増えている。幼児期は新しい音や言葉に強い関心をします時期であるため、英語を通して言葉の多様性に触れ、表現する喜びや異文化への関心を育み深めていきたいと考える。

## 2. 活動スケジュール

年中組
4.5月 体の部分
♪ Head and Shoulders
♪ The Hokey Pokey
6月 形容詞
♪ Happy Birthday
7月 家族
♪ Where Is Father?
9月 文房具
♪ This Old Man
♪ Skip to My Lou
10月 ハロウィン
♪ Chickamy Chickamy
♪ Trick or Treat
11月 天気
♪ The Intsy Wintsy Spider
12月 クリスマス
♪ We wish You a Merry Xmas
1月 アルファベット
♪ Bingo
2.3月 イースター・アルファベット
♪ The Alphabet Song
♪ Ring Around the Rosy

年長組
4.5月 家の中の物
♪ Peek-a-boo
6月 部屋の名前
♪ I see you
♪ Peek-a-boo
7月 田舎・町
♪ The Bear Went Over the Mountain
9月 職業
♪ The Farmer In the House
♪ On the Bridge of Avignon
10月 ハロウィン
♪ Halloween
11月 気持ち
♪ If You're Happy
♪ Are you sleeping
12月 クリスマス
♪ We wish You a Merry Xmas
1月 動詞
♪ The Mulberry Bush
2.3月 イースター・洋服
♪ Sunday, Monday, Tuesday
♪ A Tisket, a tasket

### 3. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

- ・年中組・年長組を対象に、月2～3回程度英語に親しむ時間を設けた。活動は、子どもたちが講師の話や音声に集中しやすいよう、椅子を半円状に配置し、講師の表情や口の動きが見える環境を整えて行った。また、絵カードやCD機器を準備し、視覚と聴覚の両面から英語に触れられるようにした。
- ・活動では、講師が単語や簡単な文章を提示し、発音を聞いた後に子どもたちが繰り返すやり取りを大切にされた。CDから流れる英語の文章を聴き、「今なんて言ったかな?」「どんな意味だと思う?」といった問いかけに対し、子どもたちは「〇〇って言うてる!」「〇〇かな?」と考えながら答える姿が見られた。初めは自信が持てず小さな声で発言する子もいたが、講師が「Good!」「もう一回言ってみよう」と温かく受け止めることで、安心して声に出そうとする様子へと変化していった。また、絵カードを用いた活動では、「What is this?」という問いに対し、「Apple!」「Dog!」などと発表し、正解すると喜ぶ姿や、友達の発言に刺激を受けて自ら手を挙げる姿も見られた。ゲームや歌の活動では、体を動かしながら英語のリズムに親しみ、「もう一回やりたい!」と繰り返し楽しむ様子が印象的であった。こうした講師とのやり取りや、友達同士の関わりの中で、英語に対する興味・関心が高まり、音や言葉をまねして表現しようとする姿が育ってきている。



### 4. 振り返り

#### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・視覚的な手がかり（絵カード）や繰り返しのやり取りを取り入れることで、子どもたちは安心して英語に触れ、発音しようとする姿につながることに気付いた。
- ・講師が子どもの発言を肯定的に受け止める関わりにより、自信をもって発言しようとする意欲が高まることが分かった。
- ・歌やゲームなど身体を伴う活動を取り入れることで、英語のリズムや音に親しみながら、楽しんで学ぶ姿が引き出されることを実感した。
- ・クラス内でも何気ない会話の中で「これは英語でなんて言うんだっけ?」と問いかけることで、楽しみながら振り返りを行うことが出来た。